

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 農産物安全課
 担当名: 安全生産・有機担当
 内線: 4049

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P16	埼玉みどり戦略推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費		
事業期間	令和7年度～令和9年度	根拠法令	みどりの食料システム法 第5条		針路分野施策	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 8, 9, 12, 13	
						1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-4, 8-4, 9-4, 12-7	
1 事業概要 県みどり基本計画で推進している環境への負荷を低減した農業を普及するため、環境負荷低減事業活動につながる取組の導入を支援するとともに、機械等の導入支援を行う。 ア 環境負荷低減事業活動の導入支援 △421千円 イ みどりの事業活動を支える体制整備 △14,043千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 環境負荷低減事業活動の導入支援 1,940千円 ア) 環境負荷低減につながる取組の導入支援 下水汚泥肥料等の地域資源の利用に向けた取組や温室効果ガス削減に資する技術等の実証・普及 イ) 優良事例の発信 埼玉・農のエコロジーアワードの実施、現地見学会の開催 ウ) みどり認定制度普及啓発 みどり認定制度の啓発活動、研修会の開催 イ みどりの事業活動を支える体制整備 20,000千円 みどり認定農業者等が行う、環境負荷低減の取組に必要な機械や施設の導入を支援 (2) 事業計画 ア 環境負荷低減事業活動の導入支援 ア) 環境負荷低減につながる取組の導入支援 計画照会(4月)、展示ほ設置(5月～12月)、取組事例作成・公表(2月) イ) 優良事例の発信 埼玉・農のエコロジーアワード募集(9～12月)、審査(12～1月)、表彰(2月)、現地見学会の開催(10月) ウ) みどり認定制度普及啓発 みどり認定制度の啓発活動(通年)、研修会の開催(11月) イ みどりの事業活動を支える体制整備 事業計画認定(4月)、交付決定(5月)、活動支援(随時) (3) 事業効果 環境負荷を低減して生産する農業者が増加することにより、県内農業の環境負荷が軽減される。 【活動指標(アウトプット)】優良事例の表彰2件、研修会の開催1回 【成果指標(アウトカム)】みどり認定者数(累計)150人 (4) 補正予算の概要 ア 経費削減に伴う減 イ 交付申請額が当初見込みを下回ったことによる減						
2 事業主体及び負担区分 【農林水産省】 ・みどりの食料システム戦略緊急対策交付金 ア ア) (イ) (ウ) (県10/10) イ (国1/2・県0)事業者1/2										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△14,464	国庫支出金	△14,043						△421	7,476
現計額	21,940		20,000						1,940	

事業内訳書

事業名	埼玉みどり戦略推進事業		
単位事業名	環境負荷低減事業活動の導入支援	予算額	△ 421千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△421	—	
合計	△421	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△19	—	講師謝金の一部減
旅費	△20	—	執行節減による現地見学会に係る旅費の減
需用費	△232	—	執行節減による消耗品費・印刷費の減
役務費	△120	—	執行節減による土壌の重金属分析費の減
使用料及び賃借料	△30	—	執行節減による会場使用料の減
合計	△421	—	

単位事業名	みどりの事業活動を支える体制整備	予算額	△ 14,043千円
-------	------------------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	△14,043	—	【農林水産省】 みどりの食料システム戦略緊急対策交付金 補助率 定額 みどりの食料システム戦略推進交付金 補助率 定額
合計	△14,043	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△14,043	—	事業実施主体数及び事業実施主体における執行額が当初見込みを下回ったことによる減
合計	△14,043	—	